

教育科目	トリミング実習Ⅲ		教育内容	トリミング実習		実技
学 科 開講学年	動物学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	67 コマ	単位数 4 単位
授業目標	1. それぞれの犬種の特長を美しく表現できるトリミング技術の習得すること。					
授業概要	各犬種の美容技術を習得する。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他(実技試験評価)		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	1回・後期
	評価方法 実技試験評価および提出物の有無、平常点により判定する。					
評価基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する ペットサロンでの実務経験 実務経験を活かしてトリミングから接客対応まで幅広い知識や技術を教授					
使用 テキスト等	渡辺まゆみ『ドッグ・グルーミング・ワークブック』（緑書房） 金子幸一『プードル・トリミングの教科書』（インターズー）					

教育科目	トリマー演習Ⅲ		教育内容	トリマー演習			演習
学 科 開講学年	動物学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	35 コマ	単位数	4 単位
授業目標	1. トリミングサロンで実施しているサービスを、理解し習得する。						
授業概要	パック・温泉浴などのサロンでするサービスを実践的に行い、理解・習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他(実技試験評価)			
	小テスト	前期	回	後期	回	前期	1回・後期 回
評価方法	実技試験評価および提出物の有無、平常点により判定する。						
評価基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する ペットサロンでの実務経験 実務経験を活かしてトリミングから接客対応まで幅広い知識や技術を教授						
使用 テキスト等	渡辺まゆみ『ドッグ・グルーミング・ワークブック』(緑書房) 金子幸一『プードル・トリミングの教科書』(インターズー)						

教育科目	グルーミング実習Ⅲ		教育内容	グルーミング実習		実技
学 科 開講学年	動物学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	33 コマ	単位数 2 単位
授業目標	1. 正確に短時間で爪切り・耳掃除・ブラッシング・シャンプーなどの基本的グルーミング作業を行える技術習得すること。					
授業概要	ペットの健康を維持するためのグルーミング法を実習によって習得する。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他(実技試験評価)		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	1回・後期
評価方法	実技試験評価および提出物の有無、平常点により判定する。					
評価基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する ペットサロンでの実務経験 実務経験を活かしてトリミングから接客対応まで幅広い知識や技術を教授					
使用 テキスト等	渡辺まゆみ『ドッグ・グルーミング・ワークブック』（緑書房）					

教育科目	スピードトリミング I		教育内容	スピードトリミング		実技
学 科 開講学年	動物学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	48 コマ	単位数 3 単位
授業目標	1. 短時間で終わることのできるトリミング技法の習得すること。					
授業概要	短時間完結のトリミング技術を習得する。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (実技試験評価)		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	1回・後期 回
評価方法	実技試験評価および提出物の有無、平常点により判定する。					
評価基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する ペットサロンでの実務経験 実務経験を活かしてトリミングから接客対応まで幅広い知識や技術を教授					
使用 テキスト等	渡辺まゆみ『ドッグ・グルーミング・ワークブック』(緑書房)					

教育科目	美容総合実習 I		教育内容	アニマルセラピー実習、 キャットグルーミング		実技、実習、講義
学 科 開講学年	動物学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	18 コマ	単位数 1 単位
授業目標	1. 動物介在活動や接客業務などを通してコミュニケーション能力などの実務実践力を身に着ける。 2. 猫に関する知識とグルーミング技術を身につける。					
授業概要	動物介在活動などを通し実務実践力を学ぶ。 猫に関する知識とグルーミング技術を学ぶ。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他(演習・実習評価)		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期
	評価方法 演習・実習評価および平常点により判定する。					
評価基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する ペットサロンでの実務経験 実務経験を活かしてトリミングから接客対応まで幅広い知識や技術を教授					
使用 テキスト等	Textbook for Animal Specialist Text Book of Cat Meister					

教育科目	動物美容学Ⅲ		教育内容	愛犬美容学		講義
学 科 開講学年	動物学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	13 コマ	単位数 1 単位
授業目標	1. 犬種それぞれの特長を理解し、その特長を表現するためのトリミング技法を理解しトリミングで表現できるようになる。					
授業概要	犬種それぞれの特長を理解し、その特長を表現するためのトリミング技法を学ぶ。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期 15 回	後期 回	前期 回	後期 回	
	評定方法 定期試験および小テストの成績、平常点により判定する。					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する ペットサロンでの実務経験 実務経験を活かしてトリミングから接客対応まで幅広い知識や技術を教授					
使用 テキスト等	金子幸一 著『プードル・トリミングの教科書』（緑書房）					

教育科目	飼育管理実習Ⅲ		教育内容	飼育管理			実技
学 科 開講学年	動物学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	18 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 健全な動物飼育方法を習得し、実践する。						
授業概要	学校飼育動物の飼育管理を中心とした実践を行い、飼育技術を習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他(実技評価)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	1回・後期	回
	評定方法 実技評価および平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する ペットサロンでの実務経験。 実務経験を活かしてトリミングから接客対応まで幅広い知識や技術を教授。						
使用 テキスト等	特になし						

教育科目	企業体験実習Ⅱ		教育内容	企業体験実習Ⅱ			実習
学 科 開講学年	動物学科 2年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	16 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 企業での実戦の中で、学んできたことを活かす。 2. 自分の能力を知り、さらなる高みを目指す。						
授業概要	インターンシップ 実際の中で、現場のプロから指導を受ける。(事前指導1コマ、事後指導1コマを含む)						
成績評価 方法	定期テスト	なし	その他 (レポートなど)				
	小テスト	なし	実習前、実習後レポート提出				
	評価方法 企業からの評価と出席率および提出物の評価による。						
評価基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 企業等担当者の実務経験 企業担当者が実務経験を活かして職業観や職務内容について教授						
使用 テキスト等	特になし						

教育科目	トリミング実習Ⅳ		教育内容	トリミング実習		実技
学 科 開講学年	動物学科 2年	開講期	前期・(後期)	授業コマ数	33 コマ	単位数 2 単位
授業目標	1. それぞれの犬種の特長を美しく表現できるトリミング技術の習得すること。					
授業概要	各犬種的美容技術を習得する。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	(その他)(実技試験評価)		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期 1回
	評定方法 実技試験評価および提出物の有無、平常点（検定試験結果を含む）により判定する。					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	(実務経験を有する) ・ (専門知識や資格等を有する) ペットサロンでの実務経験 実務経験を活かしてトリミングから接客対応まで幅広い知識や技術を教授					
使用 テキスト等	渡辺まゆみ『ドッグ・グルーミング・ワークブック』（緑書房） 金子幸一『プードル・トリミングの教科書』（インターズー）					

教育科目	トリマー演習Ⅳ		教育内容	トリマー演習			演習
学 科 開講学年	動物学科 2年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. トリミングサロンで実施しているサービスを、理解し習得する。						
授業概要	パック・温泉浴などのサロンでするサービスを実践的に行い、理解・習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (実技試験評価)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	1回
評価方法	実技試験評価および提出物の有無、平常点により判定する。						
評価基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する ペットサロンでの実務経験 実務経験を活かしてトリミングから接客対応まで幅広い知識や技術を教授						
使用 テキスト等	渡辺まゆみ『ドッグ・グルーミング・ワークブック』(緑書房) 金子幸一『プードル・トリミングの教科書』(インターズー)						

教育科目	グルーミング実習Ⅳ		教育内容	グルーミング実習		実技
学 科 開講学年	動物学科 2年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	33 コマ	単位数 2 単位
授業目標	1. 正確に短時間で爪切り・耳掃除・ブラッシング・シャンプーなどの基本的グルーミング作業を行える技術習得する。					
授業概要	ペットの健康を維持するためのグルーミング法を実習によって習得する。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (実技試験評価)		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期 1回
	評価方法 実技試験評価および提出物の有無、平常点により判定する。					
評価基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する ペットサロンでの実務経験 実務経験を活かしてトリミングから接客対応まで幅広い知識や技術を教授					
使用 テキスト等	渡辺まゆみ『ドッグ・グルーミング・ワークブック』(緑書房)					

教育科目	スピードトリミングⅡ		教育内容	スピードトリミング		実技
学 科 開講学年	動物学科 2年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	95 コマ	単位数 6 単位
授業目標	1. 短時間で終えることのできるトリミング技法の習得すること。					
授業概要	短時間完結のトリミング技術を習得する。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (実技試験評価)		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期 1回
	評価方法 実技試験評価および提出物の有無、平常点により判定する。					
評価基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する ペットサロンでの実務経験 実務経験を活かしてトリミングから接客対応まで幅広い知識や技術を教授					
使用 テキスト等	渡辺まゆみ『ドッグ・グルーミング・ワークブック』（緑書房）					

教育科目	美容総合実習Ⅱ		教育内容	アニマルセラピー実習 キャットグルーミング		実技、実習
学 科 開講学年	動物学科 2年	開講期	前期 (後期)	授業コマ数	19 コマ	単位数 1 単位
授業目標	1. 動物介在活動や接客業務などを通してコミュニケーション能力などの実務実践力を身に着ける。 2. 猫に関する知識とグルーミング技術を身につける。					
授業概要	動物介在活動などを通し実務実践力を学ぶ。 猫に関する知識とグルーミング技術を学ぶ。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	(その他) (演習・実習評価)		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期
	評価方法 演習・実習評価および平常点により判定する。					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する ペットサロンでの実務経験 実務経験を活かしてトリミングから接客対応まで幅広い知識や技術を教授					
使用 テキスト等	Textbook for Animal Specialist Text Book of Cat Meister					

教育科目	動物美容学Ⅳ		教育内容	愛犬美容学			講義
学 科 開講学年	動物学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	10 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 犬種それぞれの特長を理解し、その特長を表現するためのトリミング技法を理解しトリミングで表現できるようになる。						
授業概要	犬種それぞれの特長を理解し、その特長を表現するためのトリミング技法を学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	10 回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験および小テストの成績、平常点（検定試験結果を含む）により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する ペットサロンでの実務経験 実務経験を活かしてトリミングから接客対応まで幅広い知識や技術を教授						
使用 テキスト等	金子幸一 / 福山貴昭 著『トリマーのためのベーシック・テクニック』（緑書房）						

教育科目	飼育管理実習Ⅳ		教育内容	飼育管理			実技
学 科 開講学年	動物学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 健全な動物飼育方法を習得し、実践する。						
授業概要	学校飼育動物の飼育管理を中心とした実践を行い、飼育技術を習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他(実技評価)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	1回
	評定方法 実技評価および平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する ペットサロンでの実務経験。 実務経験を活かしてトリミングから接客対応まで幅広い知識や技術を教授。						
使用 テキスト等	特になし						

教育科目	アニマルコミュニケーションⅠ		教育内容	アニマルコミュニケーション		演習
学 科 開講学年	動物学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	10 コマ	単位数 1 単位
授業目標	1. マナー、電話応対、接客接遇、職場での対応力などの現場スキルを向上させ即戦力として就職できる力を習得する。					
授業概要	グループワークや動物業界でのケースワーク、実務実践を通じ現場対応力を習得する。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他(演習評価)		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	1回・後期
	評価方法 提出物の有無および平常点により判定する。					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する ペットサロンでの実務経験。 実務経験を活かしてトリミングから接客対応まで幅広い知識や技術を教授。					
使用 テキスト等	特になし					

教育科目	キャリア演習Ⅱ	教育内容	キャリア演習Ⅱ・人間性と社会性Ⅱ	演習
学 科 開講学年	動物 学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数 10 コマ 単位数 1 単位
授業目標	1. 就職活動を円滑に行う力を養う。 2. マナーの大切さを理解し、社会人としての基本的マナーを身に付ける。 3. 職業生活を営む上で必要な態度やコミュニケーションの能力を培う。 4. 社会の中での自己の在り方生き方について認識させ、働くことの意識付けや豊かな社会を築くために積極的に寄与する意欲や態度を養う。			
授業概要	社会人講話や就職活動を通して、社会人に必要な基礎知識や仕事に対する取り組み姿勢について学ぶ。学生と社会人で異なるコミュニケーション能力を知り、事例を通じてビジネスにおけるコミュニケーションスキルを理解する。 社会性とは何か、事例を通じて適応的人間関係を構築できる態度について考える。			
成績評価 方法	定期テスト 前期 後期	その他(レポートなど)		
	小テスト 前期 回・後期 回	前期 回・後期 回		
	評定方法 提出物、報告書等及び取り組み状況により判定。			
評定基準	『坪内学園教務規程』による			
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する			
使用 テキスト等	自主作成プリント等			

教育科目	文化・教養Ⅱ		教育内容	総合体育Ⅲ・企画マネジメントⅡ・総合体育Ⅳ・式典出席		演習
学 科 開講学年	動物学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	16 コマ	単位数 2 単位
授業目標	1. マナーの大切さを理解し、集団行動としての協調性を養う。 2. 日頃の授業の成果を発揮し、今後の活動に活かすことができる。 3. 活動を通じ、チームワークの大切さを知ることができる。					
授業概要	総合体育、学園祭、入学式出席					
成績評価 方法	定期テスト	なし	その他（レポートなど） なし			
	小テスト	なし				
	評定方法 出席率及び取り組み状況の評価等の平常点をもって評価する。					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する					
使用 テキスト等	自主製作教材					